

2023/2/21 (火)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 15章 5節 (新約聖書198頁)

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

春がきた

毎朝、校長室のブラインドを上げると窓際の草花たちが朝日を浴びます。枯れた葉、しおれた花を摘み取り、日の光に合わせて鉢を動かし、気温や湿度を感じて水や栄養を与えたり控えたり、微妙な変化を楽しみます。言葉を交わさなくても草花の思いが伝わります。

学校の一年が終わります。高校3年生は来週卒業式を迎えます。中学3年生もあとひと月で卒業式です。机を並べて学び、走って汗を流し、おしゃべりして笑い、お腹が空いてはおにぎりをほおぼり、いつの間にか言葉を交わさなくてもお互いを感じるようになりました。

イエスはご自身を「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」と言われました。真冬、葉を落としたぶどうの木は体内の血管のように枯れたような枝だけが広がります。それでもぶどうの木は見えないところで枝に水分と養分を送り、春の訪れを待っているのです。

イエスはあなたがたが凍えるような厳しい時にも、慰めと励ましを送り、光を注いで暖かく包んで下さっていたのではないのでしょうか。別れと出会いの春を迎えます。どんな時にもあなたがたと共にいて、あなたがたの成長を楽しみにしている方が一緒に春を待っています。

(しばらく黙祷しましょう)

どんな時にもわたしたちと共にいてくださる主よ、厳しい寒さの残る中、日が長くなり春の訪れを感じます。あなたと共に過ごした日々をふり返り、どうかわたしたちの過ちを赦し、足りないところを補い、ひとり一人の成長を祝福してください。いつもわたしたちはあなたと共にいて、互いに愛し合うことが幸いです。どうかトルコ・シリアの大地震の被災者の方々に平和が与えられますように、そして共に歩む英和生たちに祝福をお与えください。これから在校生から卒業生に送られるスクール・リングに刻まれた“**Love Your Neighbor**”は、あなたから与えられたわたしたちのミッション（使命）です。どうか英和生ひとり一人が与えられた賜物を持ち寄り、平和を実現することができますように導いてください。卒業の時を迎える者、学年末のテストに臨む者の健康を守り、共にベストを尽くし、与えられた結果を謙虚に受けとめ、次の学びへの励ましとなるように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン